

桐光会へのお礼メッセージ(2018年度春学期)

#1

この度は、奨学生として選考して頂き、誠にありがとうございます。自分のやりたい事を学ぶためにこの学校を選び、自宅から出ることを決断しました。しかし、家庭が経済的に非常に厳しい状況で、学生生活を送る上で、常に不安を抱えていました。今回、奨学金を頂くことができ、少しその不安も無くなります。今後も勉学、私生活共に、充実した日々を送れるように努力していきたいと思えます。

製菓学科奨学生本人

#2

この度は、桐光会修学支援奨学金の申請が通ったことに感謝いたします。目白大学経営学部に入學いたしまして、現在まで真面目に授業を受け、勉学に励んでいます。授業以外にも、MOS、IT パスポート、日商簿記2級の資格を、自身が働いたお金で教材や資格講座の受講料等の費用を賄い、資格取得に励んできました。今回それらの努力をしてきて本当に良かったとあらためて思っております。今回の奨学金採用により経済的負担が減った分、税理士資格の取得に向けてより一層頑張ります。

経営学科奨学生本人

#3

この度は、桐光会修学支援奨学金に採用して頂きまして、誠にありがとうございます。私は母子家庭で経済的に学費を納めることが困難な状況で、私自身アルバイトもしていますが実習があるため、安定して十分に収入がなく、今回、桐光会の奨学金に申請させていただきました。この奨学金に採用していただいたことで今まで以上に、学業に専念できるようになると思えます。資格、免許取得に向け、残りの授業と実習に精一杯努力していきたいと思えます。奨学金を必要としている学生が多くいる中で、私を採用していただいたことを忘れず、選んで良かったと思っただけのよう、身をひきしめて、頑張っていかなければと思います。最後になりますが、「桐光会」の皆様へ、心より感謝を申し上げます。本当にありがとうございました。

子ども学科奨学生本人

#4

この度は、桐光会奨学金に採用して頂き、誠にありがとうございます。父が病気で退職し、母のパートの収入と、私が借りている日本学生支援機構の奨学金で何とか学納金を賄っている状況でした。しかし、都営住宅への転居に伴う出費で、学納金の納入が困難でした。この奨学金に採用して頂いたおかげで、勉強の時間をアルバイトで削ることなく大学に通うことが出来るようになりました。ご支援いただいた桐光会の皆様、また相談に乗って下さった事務員の方々に心より感謝申し上げます。

メディア表現学科奨学生本人

#5

この度は、桐光会の奨学生として採用していただき有難うございます。親の怪我による離職により金銭的に困難な状況になってしまい、学納金を納めることも困難な状況になりました。しかし、桐光会の修学支援奨学金の奨学生に採用していただいたことおかげで、学納金納入の不安もなく過ごすことができるようになりました。奨学生としての自覚を持ちながら、より一層勉学に励んでいきます。桐光会の皆様、そして親切に対応していただきました学生課の職員の方々に心から感謝いたします。ありがとうございました。

韓国語学科奨学生本人

#6

この度は、桐光会修学支援奨学金に採用していただき、誠にありがとうございます。私は母子家庭で姉もおりますが自立し、一人で生活していることや、父からの支援もないことで私自身もアルバイトをして学費の負担をし、今回奨学金の申請を行いました。現在、就職活動に励んでおります。本校で学んだことを活かし、自分の就職先を慎重に決めていこうと思っております。支援していただいた恩を忘れず、卒業まで勉学に励みます。本当にありがとうございました。

生活科学科奨学生本人

#7

この度は、桐光会修学支援奨学金に採用していただき、誠にありがとうございます。私の家は母子家庭です。また、私は第5子であり、上の兄弟の教育ローンもある中で、私の留学もあり、経済的にはとても厳しい状態です。そこで今回採用していただき、母親の経済的負担を少しでも軽減できたことで、精神的に安心し、以前より勉強に対する意識が高まりました。私は国際的な舞台で活躍するという目標に向け、卒業まで勉学に励み、常にチャレンジ精神を忘れず悔いのない学生生活を送っていきたいです。また、卒業後は安定した職につき、経済的に厳しい中、私の大学への進学を応援してくれた母に感謝し、今度は私が母を支え、親孝行していきたいと思えます。最後に桐光会修学支援奨学金に関わっている皆様、本当にありがとうございました。

英米語学科奨学生本人

#8

この度は、桐光会奨学生として採用していただき誠にありがとうございます。父が身体障害の影響で思うように仕事をする事ができず、母は祖父母の介護があるため、仕事を始めることができないという状況の中、学資ローンと私のアルバイト代から何とか学費を納めていたのですが、今回学資ローンが底をついてしまい、桐光会奨学生制度に応募させていただきました。このように学費の支払いに困っているのは私だけではありません。桐光会の皆様には採用していただけたからには、より一層勉学に励み、自分の目標を必ず達成したいと思えます。選考してくださった桐光会の皆様に深く御礼申し上げます。誠にありがとうございました。

児童教育学科奨学生本人

#9

この度は、桐光会修学支援奨学金の制度に採用して頂き、誠に有難うございます。私の家は母子家庭です。さらに昨年秋に祖母がくも膜下出血で倒れ、その為に介護も重なりまして、これからの大学生活に不安を抱えておりました。奨学金を頂けた事で、学校に通い続けることができ、喜びを感じております。残りの学生生活を無駄にしないよう、より一層精進してまいりたいと思います。末筆ながら重ねて御礼申し上げます。

子ども学科奨学生本人

#10

この度は、桐光会修学支援奨学金に採用していただき、誠にありがとうございます。母の持病や、父の早期退職などがあり、経済的に余裕がなく、学校に通い続けることができるのか不安でした。また、私のアルバイト給与と日本学生支援機構の奨学金でも学納金の金額に足りていなかったため、今回採用いただいたことにより、修学を継続することができました。採用していただいたからにはしっかりと勉学に励み、資格試験に合格できるように勤めようと思います。桐光会の皆様、学生課の職員の方に心より御礼申し上げます。

経営学科奨学生本人

#11

この度は、桐光会奨学金に採用して頂き、誠にありがとうございます。大学生活も順調に過ごしていた3年生の夏に突然、父がくも膜下出血で倒れ、翌日に亡くなってしまいました。母と相談し、この制度を知り、申請させていただきました。残り1年間を学業に励む環境にして頂き、厚く御礼申し上げます。

人間福祉学科奨学生本人

#12

桐光会奨学金に採用して頂きありがとうございます。私は保育士、幼稚園教諭になるため学ばせていただいておりますが、奨学金での支援もいただき、教育実習も集中して行くことができました。また、教育実習にも懸命に取り込むことができたおかげで就職先の決定にも繋がりました。今回いただきました奨学金で残りの学生生活を充実させ、将来に繋がりたいです。今回はありがとうございます。

子ども学科奨学生本人

#13

この度は、桐光会修学支援奨学金に採用していただき、誠にありがとうございます。桐光会の皆様方には深く感謝申し上げます。また、日頃からお世話になっております教職員の皆様にもお礼申し上げます。今年度は弟が大学に進学したこともあり、経済的に更に苦しい状態となった為、奨学生に採用していただいたことで本当に助かりました。現在私は4年生で、卒業論文作成と就職活動を行っています。このように学業や将来に向けての準備に専念できるのも、ご支援のおかげです。今後も、桐光会奨学金の奨学生として恥ずかしくないように、残り少ない大学生活はもちろん、卒業後も社会人として精進して参りたいと思います。本当にありがとうございます。

地域社会学科奨学生本人

#14

この度は桐光会奨学生に採用していただき、誠にありがとうございます。数年前に父がうつ病を発症し、仕事を続けることが困難になりました。母の仕事によってどうにか4年生まで進級することが出来ましたが、昨年父が突然亡くなったことで経済状況は更に厳しくなり、学生生活を全うすることが出来るか不安な気持ちで過ごしておりました。そんな時、桐光会の奨学生に採用して頂き無事に学納金を納めることが出来ました。援助して頂いた事への感謝を忘れず、将来立派な小学校教員になる為にこれからも勉学に励む所存です。そして大学卒業後は母を支えながら、社会人として日々精進していきます。桐光会の皆様、そしてお力添え頂いた職員の皆様に心より御礼申し上げます。本当にありがとうございました。

児童教育学科奨学生本人

#15

この度は、桐光会修学支援奨学金に採用頂きまして、誠にありがとうございます。父の定年や兄妹の大学進学、祖母の介護が重なり、経済的に困窮しておりました。そんな中、この奨学金について知り、この度申請させて頂きました。採用に至り、アルバイト時間を減らし、就職活動や卒業論文などの勉学に邁進することが出来ております。卒業までより一層、勉学に励む所存でございます。最後になりましたが、桐光会の皆様、学生課の皆様に心より御礼申し上げます。

子ども学科奨学生本人

#16

この度は、桐光会奨学金に採用していただき、誠にありがとうございます。私の家庭は母子家庭で、母の給料だけで子供4人の生活を支えている状況です。私はパティシエを目指しており、来年度から東京都の洋菓子店で働くことが決まっていますが、学納金を納めることが難しく、このまま学校に在籍できるのか不安でした。そのような中で桐光会奨学生に採用して頂き、無事学納金を納めることができました。今後はより一層勉学に励み、夢に向かって努力し続けたいと思います。本当にありがとうございました。

製菓学科奨学生本人

#17

この度は、奨学金の支給対象に選んでいただき、ありがとうございます。私の父は癌を患っており、舌癌からリンパ節、背骨へと転移が広がっているため、病院で長期治療中です。私は英米語学科なので、将来は英語を生かせる職業に就きたいと思っています。今、私が父のために出来る大きな事は学業に専念する事だと思いますが、無給休暇中のため学費の支払いが不安でした。今回の奨学金を最大限に生かせるよう、日々学業に励みたいと思います。本当にありがとうございました。

英米語学科奨学生本人

#18

この度は、目白大学桐光会修学支援奨学会の対象学生として採用していただき、誠にありがとうございます。多くの希望者の中から、このような結果をいただくことができ感謝しております。私は現在大学4年であり、学生生活最後の1年をすごしています。また、それと共に社会人となる為の準備も同時に行っている時期でもあります。桐光会修学支援奨学会の対象学生に選んでいただいたため、残りの学生生活よ

り一層学業に励みたいと思います。それだけでなく、社会へ出てからは自ら責任と目標を持って物事に応じ、人々に貢献できるよう頑張りたいと思います。

韓国語学科奨学生本人

#19

この度は、桐光会修学支援奨学金を受けさせていただき、誠にありがとうございます。奨学金を申請させていただいた際に、他にも申請されている方が多いと伺い、そのような中で実際に受けさせていただけることをとても嬉しく思うと同時に、更に学生生活を充実させ、勉学に励もうという気持ちを強く感じております。これから就職活動も進んでいく中で、大学に通わせていただいていることに感謝し、自分自身の将来をきちんと選択していけるよう、学業に力を入れ精進して参りますので、今後ともよろしくお願ひ申し上げます。御礼申し上げます。

地域社会学科奨学生本人

#20

この度は、桐光会奨学金に採用いただき、誠にありがとうございます。母子家庭ということもあり経済的に厳しい状況、卒業まで1年というのに学費の支払いに不安がありました。今回の採用を受け、アルバイトの時間を減らすことができ勉学に打ち込むことができる環境を得ることができました。現在、私は4年生で卒業研究、資格取得に向けての勉強及び就職活動に勤しんでおります。不安なく勉学等に打ち込めるのも今回の採用があつてのことです。今後、卒業に向け精一杯取り組んでいきたいと思ひます。本当にありがとうございました。

人間福祉学科奨学生本人

#21

この度は、桐光会修学支援奨学金の申請を採用していただき、ありがとうございました。日本学生支援機構奨学金の第1種の方を1年生から借りていたのですが、その奨学金だけでは学費を払うことが難しくなつていたところ、大学から届いた書類で桐光会の奨学金があることを知りました。親からこの奨学金を申請してほしいと提案されたときに、親の苦勞を身に染みて感じ、2回目の選考で採用された時は、本当に大学に入って勉強を頑張つていて良かったと感じました。学納金も少しでも余裕を持って納めることができ、少しでも親に恩返しできたと思ひます。本当にありがとうございました。

子ども学科奨学生本人

#22

この度は、桐光会修学支援奨学金を採用して頂き、ありがとうございます。今回のこの結果を受け、授業や講義はもちろん、他の学内で実施されている様々な資格講座やボランティア活動などにも意欲的に参加していこうと思つております。教職の授業も履修しているので、実習の際は教育現場ならではの学びを吸収し、今後に生かしていきたいです。支援していただいた御礼を忘れず、充実した学生生活を送り、勉学に励ませて頂きます。末筆ながら、桐光会の皆様のますますのご健勝とご多幸をお祈り申し上げます。

日本語・日本語教育学科奨学生本人

#23

この度は、桐光会修学支援奨学金に採用いただきまして誠にありがとうございます。入学してからこれまで、この目白大学で将来、子どもたちのより良い未来を築く為の支援者になりたいという目標に向けて勉強してきました。卒業論文にとりかかりはじめ、就職先も決まり、もうすぐその目標に手が届きそうなところで大きな問題に直面したときに手を差し伸べてくださったのが、桐光会の皆様でした。そのおかげで、こうして今大好きな仲間達と尊敬する先生方とともに勉学に励むことができます。私は採用していただいたことの意味として、この目白大学で学んだ者としての誇りをもって社会に出て、自分が選んだ道の中で社会に貢献するという意義があると考えています。この気持ちを忘れずに、残りの学生生活を過ごしていきます。この度は誠にありがとうございました。

心理カウンセリング学科奨学生本人

#24

この度は桐光会奨学金に採用していただきありがとうございました。家庭が経済的に苦しい状況だったのですが、修学支援奨学生に採用いただき、大変助かりました。おかげさまで学業を継続させていただけることになり、大変感謝しております。いただいたご恩を忘れることなく、一生懸命に学業に励んでいきたいと思えます。桐光会の皆様、支援して下さった方々、重ねて御礼申し上げます。誠にありがとうございました。

子ども学科奨学生本人

#25

この度は、桐光会奨学金に採用していただきありがとうございました。母子家庭で経済的に苦しい中、弟の進学への費用も重なり、学費を納めることが厳しい状況でしたが、今回採用いただいたことで無事に納めることができ、大変感謝しております。今後もより一層勉学に励み、立派な保育士になれるよう努力していきます。桐光会の皆様、支援して下さった方々、重ねて御礼申し上げます。ありがとうございました。

子ども学科奨学生本人

#26

この度は、貴団体に申請致しました桐光会奨学金において、採用していただきまして誠にありがとうございます。桐光会奨学金の給付があったことで、経済的な不安なく学業に専念することができております。現在私は4年生で、卒業に向け卒業制作を進めている次第であります。こうして充実した最後の大学生活を送ることができるのも、貴団体のご支援のお陰と、私は勿論、家族一同感謝の気持ちでおります。今後はこのご支援に恥じぬよう残りの学生生活を真面目に送ってまいりたいと考えております。この度のご支援本当にありがとうございます。再度感謝を申し上げます。

韓国語学科奨学生本人

#27

この度は桐光会奨学生に採用して頂き、誠にありがとうございました。家庭状況が苦しい中で母が1年次の冬に亡くなり、父には頼れず、今までの3年間の大学費用を全て奨学金に頼っていました。そのよう

な中で4月より7週間の実習で宮城県へ行くことになり、様々な準備費や宿泊費が必要となりました。4年生となり今までのようにアルバイトも出来なくなるため金銭面での不安がありましたが、奨学生に採用して頂いたことで、国家試験合格と卒業に向けて、より一層安心して勉学に励むことができます。皆様の温かいご支援への感謝を忘れずに、残りの学生生活を送っていきたいと思います。簡単ではありますが、桐光会の皆様に心より感謝申し上げます。この度は誠にありがとうございました。

理学療法学科奨学生本人

#28

この度は、桐光会奨学金に採用していただき、誠にありがとうございます。父が後遺症のために働くことができず、姉と私の学費を払うには経済的に厳しい状況でした。今回、このように奨学生としてご支援していただけることに心より感謝いたします。今後は奨学生であるという自覚を持ち、ますます学業に励みます。そして、立派な言語聴覚士を目指します。本当にありがとうございました。

言語聴覚学科奨学生本人

#29

この度は桐光会奨学金制度に採用して頂き、誠にありがとうございます。私は母子家庭で、経済的にもあまりゆとりがない中、母が病気になり仕事にも支障が出ている状況でした。今後仕事を続けられないかもしれないと伝えられ、今後の学生生活に不安を抱いていましたが、本奨学金のご支援を得ることができ、母ともに大変感謝しております。今後は長期実習も控えているので、より一層一生懸命勉学に励んでいきたいです。そして、思いやりのある立派な作業療法士になります。末筆ながら、教育後援桐光会の皆様、学生課職員の皆様に心より御礼申し上げますとともに、ますますのご健勝とご多幸をお祈り申し上げます。

作業療法学科奨学生本人

#30

この度は、桐光会修学支援奨学金を給付してくださり、誠にありがとうございました。経済的に家庭が困難な状況が続いている中、今回桐光会修学支援奨学金を給付くださることとなり、大変感謝しています。支援していただいたことへの感謝の気持ちを忘れず、これからの大学生活を日々過ごしていきたいと思います。そして、今まで以上に勉学に励み、将来の夢である理学療法士になり、たくさんの人を助け、たくさんの人力になれるように努力していきたいと思います。桐光会の皆様、お力添えを頂いた学生課の職員の皆様に心から感謝致します。ありがとうございました。

理学療法学科奨学生本人

#31

この度は桐光会奨学金制度に採用して頂き、誠に有難うございます。母子家庭で家庭の経済状況が苦しい上に、祖父の高齢者福祉センターへの入居により介護費がかかり、学納金を払う事が困難となりました。今回、桐光会奨学金制度に採用して頂いたことで大学生活を送ることができます。支援していただいた御礼を忘れずに、残りの学生生活に励んでいきたいと思います。桐光会の皆様の温かいご支援に感謝致します。末筆ながら、ますますのご健勝とご多幸をお祈り申し上げます。

看護学科奨学生本人

#32

この度は、桐光会修学支援奨学金に採用していただき、誠にありがとうございます。家庭の経済状況がきびしい状況でしたが、支援していただいたので授業を受け続けることができました。支援していただいた感謝を忘れず、勉学に励んでいきたいと思えます。末筆ながら、桐光会の皆様のますますのご健勝とご多幸をお祈り申し上げます。

看護学科奨学生本人